

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。 なお、住民基本台帳法の改正に伴い、平成26年からは外国人を含む数値となっている。

4 調査時点 平成28年3月31日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表1

高齢者人口は593,630人となっており、総人口の増加率が▲0.2%であるのに対し、高齢者人口の伸び率は3.0%増加となっている。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表2-1

高齢化率は25.6%で前年と比較して0.8ポイント上昇している。

① 広域圏別高齢化率の状況……………表2-2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域（35.8%）で、次いで気仙沼・本吉圏域（34.8%）、登米圏域（31.1%）、仙南圏域（30.5%）、石巻圏域（29.8%）、大崎圏域（29.0%）、仙台圏域（22.8%）となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表2-3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町（46.3%）、次いで女川町（37.4%）、丸森町（37.3%）、山元町（37.1%）、栗原市（35.8%）の順で、県内半数以上の21市町が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷町（17.4%）で、次いで利府町（19.8%）、大和町（20.4%）、名取市（20.9%）、仙台市（22.2%）の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表3

在宅ひとり暮らし高齢者数は105,446人で、65歳以上の人口に占める割合は17.8%となっている。